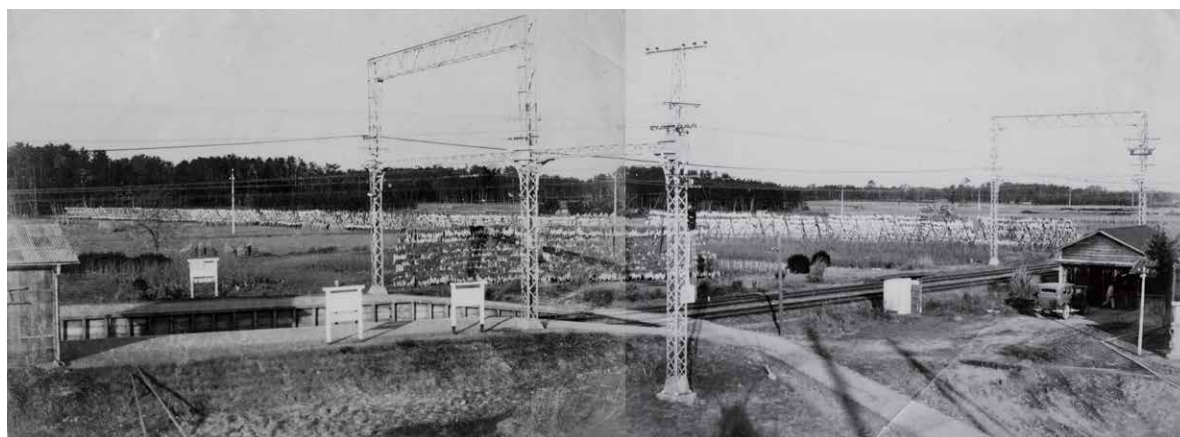


明和町と鉄道

明和町には現在、町の中央部を近畿日本鉄道（近鉄）の山田線が通っており、町内には、斎宮駅と明星駅の二つの駅があり通勤や通学、観光客にたくさん利用されています。明星駅には車両基地も置かれており、電車の整備や点検が行われています。

このふたつの駅は、昭和5年（1930）3月に参宮急行電鉄（近鉄の前身会社のひとつ）が、松阪駅－外宮前駅（現在の宮町駅）間を開業した時にできました。この時、初めて明和町に鉄道が通ったのです。5月には参急中川駅（現在の伊勢中川駅）－松阪駅間、9月には外宮前駅－山田駅（現在の伊勢市駅）間、昭和6年（1931）3月には宇治山田駅まで延長されました。まだ蒸気機関車が客車を牽引するのが普通だった時代に、電気で走る最新の電車が明和町と伊勢や大阪・名古屋を結ぶことになりました。



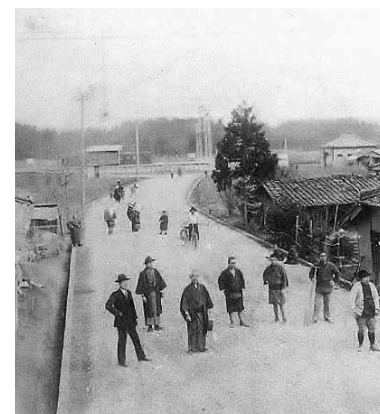
かつての斎宮駅周辺（昭和23年（1948）以前か 乾 秀治氏提供）



かつての斎宮駅（昭和50年（1975）頃）



かつての明星駅昭和6年（1931）
（奥山 桂氏提供）



開通直後の斎宮駅南側
（昭和6～8年（1931～1933）頃か
中川 隆雄氏提供）

明和町を通っていたもう一つの鉄道

明和町にはかつて近鉄以外にも電車が走っていたことを知っていますか？

関西急行鉄道（近鉄の前身会社のひとつ）伊勢線（江戸橋駅－大神宮前駅間）も町内を通っていました。この路線は、桑名駅－新松阪駅間を結んでいた伊勢電気鉄道が、昭和5年（1930）12月に大神宮前駅まで開業した時に誕生しました。このとき南斎宮駅と南明星駅が開業しました。昭和17年（1942）8月に新松阪駅－大神宮前駅間が廃止されます。町内の廃線跡は、有料道路として活用されましたが、現在は、県道37号鳥羽松阪線として多くの車が通っています。鉄道から形を変えていますが、今も人々の行き来に活用されています。

幻の鉄道

昭和37年（1962）、鉄道敷設法（国が建設すべき鉄道を定めた法律）が改正されて、「七十五の三 三重県津付近より松阪を経て伊勢に至る鉄道」が追加されました。津から伊勢湾沿いに松阪を経由して伊勢を結ぶ計画でしたが、実現しませんでした。実現していれば、町内の海寄りの地域に鉄道が通っていたかもしれません。

探してみよう

- 近鉄 斎宮駅の辺りには「参宮急行電鉄」が建設したことを伝えるものが残っています。どのようなものが残っているのか探してみましょう。
- 近鉄 斎宮駅辺りを写した昭和20年代と現在の航空写真を比べて気づいたことを話しあってみよう。



かつての南斎宮駅 昭和6年（1931）（奥山 桂氏提供）



かつての南斎宮駅変電所（田所 信子氏提供）